

都道府県別指導体制状況(令和4年3月31日現在)

※GAPについて、高い水準で指導できると推定される指導員数(指導に必要な知識を習得するための研修を受講し、3件以上の指導実績がある者の数)

(単位:人)

都道府県	指導員数
北海道	265
青森県	139
岩手県	61
宮城県	13
秋田県	48
山形県	169
福島県	202
茨城県	176
栃木県	42
群馬県	12
埼玉県	122
千葉県	55
東京都	104
神奈川県	41
山梨県	14
長野県	141
静岡県	108
新潟県	76
富山県	79
石川県	149
福井県	57
岐阜県	147
愛知県	148
三重県	118
滋賀県	27
京都府	31
大阪府	32
兵庫県	56
奈良県	25
和歌山県	24
鳥取県	5
島根県	55
岡山県	9
広島県	9
山口県	35
徳島県	57
香川県	62
愛媛県	66
高知県	50
福岡県	184
佐賀県	63
長崎県	24
熊本県	38
大分県	100
宮崎県	129
鹿児島県	13
沖縄県	46
合計	3,626

出典：農林水産省農産局農業環境対策課調べ（都道府県から聞き取り）